

報道関係各位

2010年5月10日

**耐震性に優れ、環境にもやさしい新工法！
大東建託オリジナル「ネオフレーム工法」誕生！**

大東建託株式会社では、このたび、2×4工法を進化させたオリジナル工法「ネオフレーム工法」を開発し、今後の新商品へ順次展開していきますので、以下の通りお知らせします。

記

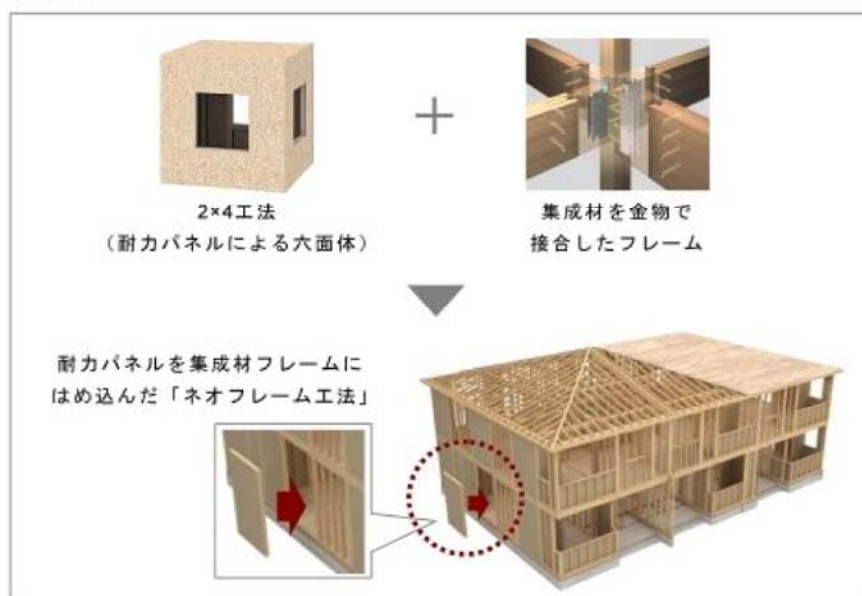
1. ネオフレーム工法の概要

2×4工法は、パネル状の壁と床で支える構造で、強固に接合された六面体により家を形づくり。力を「面」で受け止め、6つの「面」に分散させるため、地震等に対して強さを発揮します。

このたび開発した「ネオフレーム工法」は、2×4工法を進化させ、2×4工法の特徴である耐力パネル(※1)を構造用集成材(※2)や専用金物等で接合されたフレームにはめ込んだ工法です。更に強度に優れた集成材を金物で接合することにより、耐震・耐風・耐久性に優れた建物を実現します。

なお、この「ネオフレーム工法」に採用している耐力壁構造は、当社オリジナル新工法として特許出願中です。

■イメージ

**2. 高品質と工期短縮を両立**

集成材や壁パネル等の部材は全て工場で切断・加工し、現場ではピンやビス等での組み立て作業のみを行います。また、各部材には工場での加工段階で金物を取り付け、また、壁パネルには釘打ち箇所を予め印字しておくなど、工事現場で正確かつ容易に組み立てることが可能な工夫を加えています。これにより、施工精度を高めるとともに、工期の短縮を実現しました。

3. 廃材の削減、国産材の活用による環境負荷の低減

部材を工場で切断・加工することにより、工事現場での廃材を従来の約1/10に削減することが可能となりました(当社2×4工法比)。また、耐力パネルには100%木質再生資材(カットした際にできる端材等)のできたエコパネルを採用しました。木材使用総量も減少するため、環境負荷の低減につながります。

また、構造材の一部には国産材を採用しました。国産材の活用は、国内の森林整備・森林循環を促進し、新たに植えられた木々がCO2を吸収するため、温暖化防止につながります。

当社では今後も、環境負荷低減につながる工法、商品の開発に注力してまいります。

※1 耐力パネル

地震や台風による外力が加わった場合、その外力を面で受け止め変形を抑えるための壁

※2 集成材

木材を積層・接着させることで、柱・梁など建物の骨組みに求められる必要強度を、高い精度で確保した木製資材です。

集成材は一般の木材に対して強度が強く、大型ドーム等にも使用されています。



以上

この件に関するお問い合わせ先
大東建託(株)経営企画室
TEL. 03(6718)9068

